

# 1. 健康対策について

## ①暑さの現状

- ・熱中症警戒アラートの発令日（後志地方）

R 5. 8. 23	R 5. 8. 24	R 5. 8. 25	R 5. 8. 26
------------	------------	------------	------------

- ・熱中症疑いで救急搬送されたケース

R 3	R 4	R 5
74件	40件	172件

- ・今夏、道内の小学校、中学校、高等学校と特別支援学校では、熱中症疑いで救急搬送されたケースが、昨年の4件から37件に増加しました。

- ・小樽市立小中学校の教室の最高気温

(延べ日数)

33.0℃～33.9℃	34.0℃～34.9℃	35.0℃～35.9℃	36.0℃以上
18校 30日	15校 31日	10校 16日	2校 4日

詳細は最高気温一覧表【資料1-1】

## ②これまでの各小中学校で実施している熱中症対策の取組

<ソフト面>

- ・扇風機、サーキュレータ、冷風機の使用
- ・窓を開けて換気
- ・カーテンで直射日光を遮る
- ・屋外活動時に帽子を着用する
- ・薄着の推奨
- ・こまめな水分補給（児童生徒各自が水筒を持参）
- ・運動の際に適宜休憩を取る
- ・水に濡らしたタオルを活用して身体を冷却する
- ・体育授業の振替や部活動の中止

<ハード面>

- ・令和2年度：普通教室（通常学級、特別支援学級）と特別教室に扇風機  
各学校保健室にスポットクーラー
- ・令和2年度（令和3年度に繰越事業）：教室や廊下などに網戸等（屋体の防虫ネット）  
の新增設と屋内運動場に大型扇風機を設置
- ・令和5年度：保健室に窓用エアコン

### ③小樽市の児童生徒の健診結果

1. 裸眼視力1.0未満 根拠資料：北海道学校保健統計調査、小樽市の教育

○小学校

年度	全国	北海道	小樽市
R3	36.87%	43.3%	40.8%

※中学校について、全国統計値は算出されているものの、道の統計値は標本数の少なさから算出されていないため、比較不可。

2. 耳鼻咽喉に係る疾病・異常の被患率 根拠資料：北海道学校保健統計調査、小樽市の教育  
耳疾患（中耳炎、耳垢栓塞等）※小学1年生

年度	全国	北海道	小樽市
R3	10.47%	12.8%	9.9%

鼻・副鼻腔疾患（アレルギー性鼻炎、慢性鼻炎等）※小学1年生

年度	全国	北海道	小樽市
R3	12.41%	9.5%	14.7%

口腔咽喉疾患（扁桃炎、扁桃肥大等）※小学1年生

年度	全国	北海道	小樽市
R3	1.32%	1.2%	3.5%

※全国・道の統計では概ね全学年について割合が算出されているが、小樽市では小学1年生のみを対象として耳鼻咽喉科医による健診を行っているため、比較対象を当該学年のみとする。

3. 肥満傾向 根拠資料：全国体力・運動能力、運動習慣等調査

○小学校5年男子

年度	全国	道	小樽市
R3	13.1%	19.6%	23.1%

○小学校5年女子

年度	全国	道	小樽市
R3	8.9%	12.9%	14.8%

○中学校2年男子

年度	全国	道	小樽市
R3	10.0%	13.3%	10.1%

○中学校2年女子

年度	全国	道	小樽市
R3	7.1%	8.8%	11.0%

4. う歯率 根拠資料：北海道学校保健統計調査、小樽市の教育

○小学校

年度	全国	北海道	小樽市
R3	39.0%	47.4%	54.1%

○中学校

年度	全国	北海道	小樽市
R3	30.4%	43.6%	55.1%

# 教員の働き方改革について

## ①全国及び小樽市の教員の現状について

・令和4年度職種別時間外在校等時間 (ひと月あたりの平均時間)

	校長	教頭	主幹教諭	教諭	養護教諭	事務職員
小学校	35:02	66:05	45:06	24:33	17:01	16:55
中学校	31:17	69:24	56:51	27:01	14:57	17:43

・時間外在校等時間が多いのは、小中ともに4月、6月

## ②国における働き方改革の現状

・教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策(令和5年8月28日)

- 抜粋 1. 学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進
- (1)「学校・教師が担う業務に係る3分類」を徹底するための取組
  - (2)各学校における授業時数や学校行事の在り方の見直し
  - (3)ICTの活用による校務効率化の推進

## ③これまでの小樽市の働き方改革の取組

・小樽市立学校における働き方改革行動計画(第2期)

抜粋

### P3 ・目標

教育職員(給特条例第2条第2項に規定する教育職員をいう。)の在校等時間から所定の勤務時間を減じた「時間外在校等時間」を1か月で45時間以内、1年間で360時間以内とします(上限時間)。

### P4～4 具体的な取組

- (1)本来担うべき業務に専念できる環境の整備
  - ①働き方改革手引「Road」の積極的な活用【重点】
  - ②ICTを積極的に活用した業務等の推進【重点】
  - ③④(略)
  - ⑤校務支援システムの導入促進
- (2)部活動指導に関わる負担の軽減
- (4)教育委員会による学校サポート体制の充実
  - ①メンタルヘルス対策の推進等【重点】
  - ②調査業務等の見直し
  - ③～⑥(略)
  - ⑨教頭への支援

・実施した主な取組

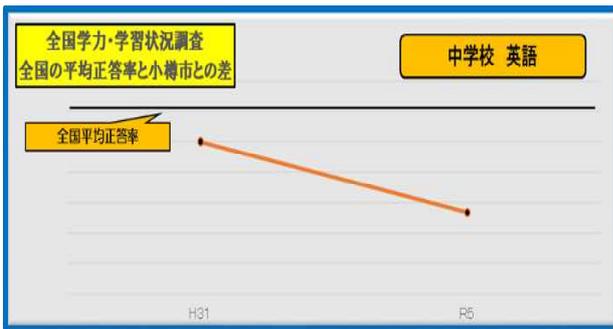
- ①留守番電話サービスの導入
- ②校務支援システムの全校導入
- ③市教委が行う調査やその手法の見直し  
→googleフォームなどでのアンケート実施
- ④部活動改革の推進  
→部活動指導員の確保  
→拠点校方式の導入による市内の顧問の数の減少(サッカー一部5→2)

# 学力向上対策について

## ①全国及び小樽市の学力調査結果について

【教科の平均正答率の推移】

- ・調査開始年度である平成19年度からの経年で、国語は小中ともに改善傾向にある。
- ・算数・数学は、平成30年頃までは改善の傾向にあったが、以降停滞。
- ・英語は平成31年度調査（初回、令和5年度2回目）に比べ、全国との差が大きくなった。



## ②これまでの小樽市の主な取組について

### ○教員の指導力向上に係る研修会の実施

- ・道外から著名な実践者を外部講師として招聘した実践的な研修（国語、算数・数学、理科、英語、体育）により、求められている授業についての理解を深める場
- ・講師による示範授業・講演会及び会場校（指定校）の公開授業

### ○「小樽市小中学校学力向上検討委員会」の取組（指導資料、研修会、確認テスト）

- ・現場教員を含め構成し、本市の課題を分析、改善点を共有
- ・授業改善に資する教員向け資料の作成と具体的な授業提案（研修会）
- ・課題となっている内容等の改善に資する問題作成（確認テスト）

### ○「おたるスマート7」の取組（生活習慣改善に向けた保護者啓発）

## ③課題について

### ●各教科の平均正答率が全国平均に及んでいないこと。

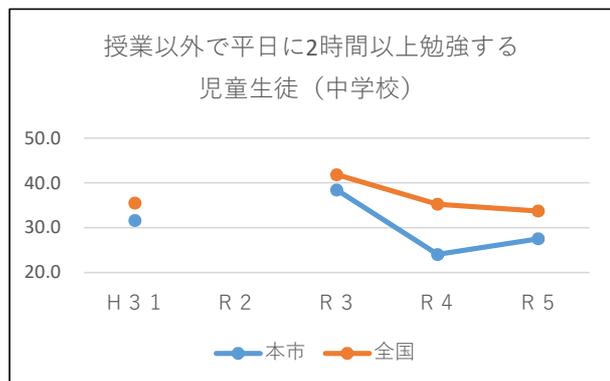
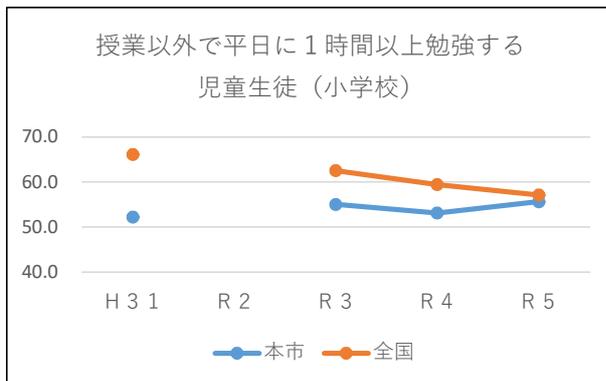
### ●家庭での学習時間が全国に比して少ないこと。

- ・小学校では1時間以上、中学校では2時間以上、平日に勉強する割合は全国を下回る状況。
- ・中学校では、まったく勉強をしない割合が全国を上回っている。  
※資料「授業以外で平日に勉強（小学校1時間以上、中学校2時間以上）する児童生徒の割合」

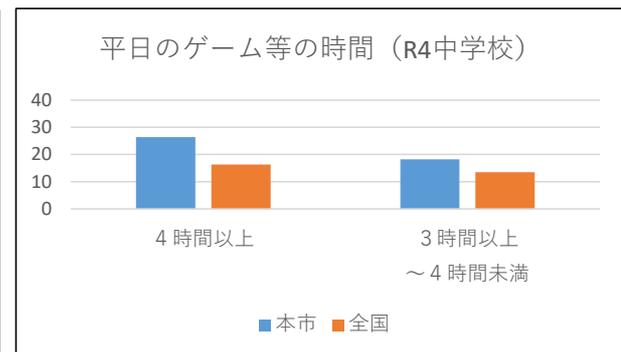
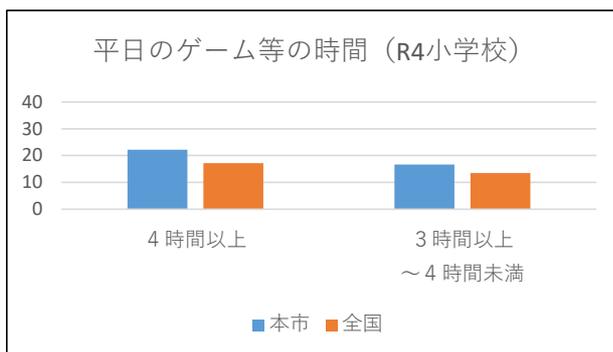
### ●ゲームをする時間が全国と比べて多いこと。

- ・平日4時間以上ゲームをする児童生徒の割合が全国を上回る状況
- ・小中で比べると、4時間以上ゲームをする児童生徒の割合が、中学校でさらに増加。

授業以外で平日に勉強（小学校1時間以上、中学校2時間以上）する児童生徒の割合



平日に3時間以上、ゲーム等をする児童生徒の割合



## 学校給食費について

### ①全国的な食材費等物価高騰の現状

消費者物価指数・食料の上昇率の推移(対年同月比)

	R3.4月	R3.8月	R4.4月	R4.8月	R5.4月	R5.8月
全国	-1.2%	-1.1%	4.0%	4.7%	8.4%	8.6%
北海道	0.0%	0.4%	4.6%	5.4%	9.0%	9.2%

### ②全国及び小樽市の給食費の現状

文部科学省「令和3年度学校給食実施状況等調査」より

	小学校	中学校
全国平均月額	4,477円	5,121円
北海道平均月額	4,491円	5,323円
小樽市	4,200円	5,020円

道内他都市の状況(令和5年度:比較のため、金額は各学年の平均)

都市名	調理方式	小学校月額	中学校月額	高騰対策	対策方法
札幌市	親子調理	4,443円	5,111円	○	臨時交付金活用
函館市	親子調理	3,818円	4,708円	○	一般会計で助成
旭川市	親子調理 共同調理場	4,850円	5,700円	○	一般会計で助成
釧路市	共同調理場	4,237円	4,850円	○	臨時交付金活用
帯広市	共同調理場	3,818円	4,728円	○	一般会計で助成
苫小牧市	共同調理場	4,500円	5,250円	×	献立の工夫で対応 (助成なし)
北見市	共同調理場	4,917円	5,417円	○	臨時交付金活用
江別市	共同調理場	4,891円	5,879円	○	一般会計で助成
小樽市	共同調理場	4,200円	5,020円	○	臨時交付金活用

\* 苫小牧市は食材費に対する助成は行っていないが、臨時交付金を活用し、5月・6月分給食費を無償化している。

### ③これまでの物価高騰に対する小樽市の取組

#### 1 臨時交付金を活用し、食材費高騰分を助成し、保護者負担額を据え置き

	助成後の月額給食費	R4 助成額	R5 助成額
小学校1~3年	4,150円	190円	360円
小学校4~6年	4,200円	200円	370円
中学校1、2年	5,060円	230円	440円
中学校3年	4,930円	220円	410円

#### 2 臨時交付金を活用し、令和4年度(R4.12~R5.3)、令和5年度(R5.9~R5.12)それぞれ4か月間給食費保護者負担額を無償化